

# 第23回五霞町青少年の主張大会

12月15日、中央公民館講堂において、第23回五霞町青少年の主張大会が盛大に開催されました。

当日は、町長を始め町議会議員、教育委員、各小中学校PTA会長、民生委員、青少年相談員など約200名の来賓や一般聴聞者が出席するなか、小学生4名、中学生6名の10名の児童及び生徒が登壇し、日頃の考えや思い、また将来の夢などを力強く主張発表しました。

受賞者は次のとおりです。

## 《受賞者》 (敬称略)

○五霞町青少年問題協議会長賞

五霞西小学校6年

小村 凜

○五霞町議会議長賞

五霞中学校2年

大久保 優子

○五霞町教育委員会教育長賞

五霞中学校3年

安川 翔心

○青少年育成五霞町民会議会長賞

五霞中学校3年

飯塚 朋仁

○五霞町青少年相談員協議会長賞

五霞東小学校5年

鈴木 苺

○優秀賞

五霞西小学校5年

木村 優月

五霞東小学校6年

櫻本 風咲

五霞中学校1年

栗原 桜

五霞中学校1年

渡辺 陽太

五霞中学校2年

笈沼 柚翠



## 私の夢

五霞西小学校6年 小村 凜

私には夢があります。私は、将来獣医になって、けがや病気で苦しんでいる動物たちを救ってあげたいです。

私が獣医になりたいと思ったきっかけは、幼い頃から家で飼っていた猫が、あるときけがをしてしまったことです。けがは治りましたが、今でも傷あとが残っています。そのとき私は、少しでも動物たちの力になりたいと強く思い、獣医を目指すことを決心しました。

私が獣医になったら、実現させたいことが三つあります。

まず一つ目は、動物を飼うすべての人に、動物を大切に育ててもらうことです。時折ニュースなどで、動物虐待や飼育放棄の問題が報道されています。また、たくさん動物が殺処分を受けていると聞きました。しかも、そのうちの半分は、もともと飼い主がいたのです。私は、その話を聞いたとき、とても悲しい気持ちになると同時に、怒りのような感情が湧いてきました。動物の命だつて私たち人間と何も変わらない大切な命なのです。それなのに、まるで使い捨てのように、人間の身勝手さで命を奪われるなんて、絶対に

許せないことだと思っています。だから、私が獣医になったら、動物の命の大切さを飼い主のみならず呼びかけていきたいです。そして、動物の命も、家族の命と同じように大切にしたいです。

二つ目は、獣医の仕事を通して、社会の役に立ちたい、ということです。社会の中では一人一人が役割を果たし、責任を持っています。みんなのために働いています。私が獣医になったら、動物を大切に飼っている人のために、一生懸命けがや病気を治療し、動物たちの命を救っていきたいと思います。また、動物は人々の心の支えであり、盲導犬に代表されるように、人の生活を支えてくれる存在でもあります。私は、そんな動物たちを、しっかりと守っていきたいと思います。

三つ目は、高度な医療技術を身につけ、難病に苦しむ動物たちを救うことです。最近の高度情報社会に伴って、医療機器の技術も年々進歩しています。昔だったら救えなかった命も、現代の技術なら治すことも可能になってきているそうです。だから私は、大学などで最先端の医療をしっかり学び、動物たちの命を、可能な限り救いたいと思います。そして、病气やけがに苦しむ動物たちを、一匹でも多

く救いたいと思います。私は、獣医になるためにどうしたらいいのか調べてみました。獣医になるためには、大学の獣医学部で動物医療を専門的に学ぶことが必要だと分かりました。しかし、獣医学部のある大学は少なく、入試に合格するために必要な学力も、とても高いことが分かりました。だから、今のうちからしっかりと勉強に打ち込み、必要な学力をつけていきたいと思っています。そして、いつの日か獣医になり、自分の夢を叶えたいと思います。

最後になりますが、私は動物が大好きです。一匹二匹の動物の命を、家族や友達のように、大切に思っています。今の世の中は、動物をペットとして飼う人がたくさん増え、動物たちとの生活が当たり前の世の中です。だから、動物を飼う人は、その動物の命が尽きるまで、家族として大切にしたいのです。そして、すべての人が、動物に対して思いやりの心を持ち、大切にしていく、そんな世の中になってほしいと願っています。

